

# 海外メタルレポート WEEK IN REVIEW (AMM紙特約)

## 米鉄鋼業界、中国製OCTG課税を歓迎

4日 米国際貿易委員会が中国製油井管(OCTG)に10.36-15.78%の相殺関税を決めたことで、米鉄鋼協会のトーマス・J・ギブソンCEOは「米国の失業率が2ケタに上るなか、中国からの鉄鋼やその他の製品輸入に対する規制が米国の製造業が安定的に成長するために必要」とコメントした。USスチールの広報によると、中国製のOCTG輸入は2008年に220万ネットトンと06年比約3倍に増えており、米国の生産は09年1-9月の累計で前年同期比73%以上減少し40%近くの労働者が一時帰休(レイオフ)となった。

## 米モリブデン価格が続伸

6日 米国のモリブデン価格が続伸している。酸化モリブデンのスポット価格は2週間前のポンド当たり11.25-11.50ドルから12.75-13ドルに上昇し、フェロモリブデン価格も12月中旬の13-13.50ドルから14.75-15.25ドルに上昇している。

米国に本拠を置く商社によると、一時的なものかもしれないが、需要家からの引き合いが増えている。一方で、投機買いの影響もあるようだとしている。

## 米薄板需要は低調

7日 米国の熱延鋼板価格はネットトン当たり570-580ドル、冷延鋼板は660-670ドル、溶融亜鉛めっき鋼板は820ドルで、サービスセンターや鉄鋼需要家筋によると鉄スクラップははじめ製造コストが上昇している半面、需要は低調なまま推移している。

需要家筋によると、薄板の需要は他品種と比べれば堅調で、春には荷動き増が見込めるが、足元は需要回復の気配がない。中西部のサービスセンターによると、自動車向けの需要がやや増えているものの、他の製造業は低調推移している。

## 米フェロシリコンが値上がり

8日 商社筋によると、米国のフェロシリコン価格は需要の回復を受けて堅調推移しており、さらに値上がりする可能性もある。足元のスポット契約価格は2週間前のポンド当たり73-76ドルから76-78ドルに上昇している。

需要家によると、フェロシリコン需要は10-12月の初めは7-9月よりも低調で、12月初めの価格はポンド73ドルに下落した。ただ、足元では板製品の需要が回復し始めている。

Copyright 2010 Cahners Business Information, a division of Reed Elsevier Inc. All rights reserved

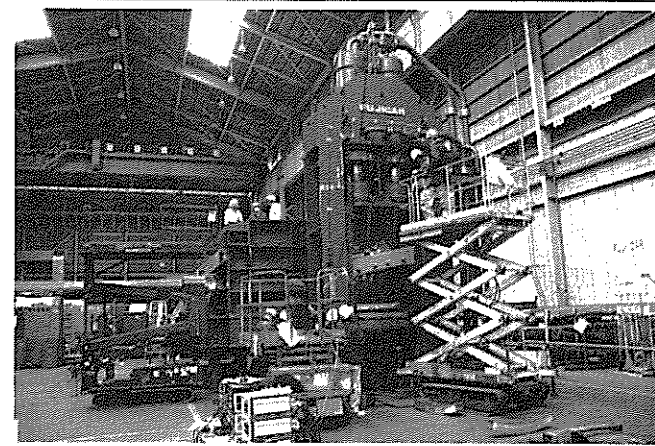
# 需要低迷も高騰

### 上海の建築鋼材 原料高など影響

【新華社】国内で有名な鉄鋼スポット取引機関の「西本新幹線」によると、新年連休明け、上海では建築鋼材は高騰しているものの、最終需要低迷の様相に目に見えた変化はなかった。上海の建築鋼材在庫は2009年以来の最高を記録した。

2010年早々、上海の建築鋼材は高騰し始めた。国内で有名な鉄鋼スポット取引機関の「西本新幹線」によると、新年連休明け、上海では建築鋼材は高騰しているものの、最終需要低迷の様相に目に見えた変化はなかった。上海の建築鋼材在庫は2009年以来の最高を記録した。

始め現在、優良2級異形棒鋼はトン3770元近くまで上がり、1週間90元上伸。優良3級異形棒鋼もトン3920元前後で、1週間90元上伸した。アナリストによると、現在は鋼材消費の閑散期にあたり、しかも上海の建築鋼材在庫は09年以降の最高水準に達している。供給が高割に、需要が低迷している。なかで、上海の鋼材市況が一本調子で高騰する背景には、単に需給関係だけでなく、説明できない事情がある。新年連休明け、資金は相変わらず十分で、市場が進んで調整する原動力は目に見えて足りず、買いために上昇を待つ状況が一般的だ。



業界最速級の切断スピードを誇る

富士車両は、産業廃棄物の処理機械事業、製鉄所内で原料・資材などの貨物運搬に使用される台車事業などの営業展開を加速させている。

同社では鉄スクラップ加工処理機械以外に、フジマルチカッターやスマートハンマーなど産業廃棄物の破砕機械、廃プラスチック、可燃産業廃棄物から固

形燃料(RPF)を製造するRPFステーションなど、総合リサイクル

環境機器メーカー大手の富士車両(本社滋賀県守山市、津田弘史社長)は、年明けより新型の鉄スクラップ加工処理設備を市場投入する。加工処理速度を引き上げながら既存のスクラップシャーから安全性と省エネ性を向上させた。昨年末、本社工場で高速型を試験運転しており、早ければ2月中旬に1基目の納入を予定している。

新型の鉄スクラップシャーは母材を押しつぶすシャ一部分の仕様を変更することで安全性を向上させた。エネルギーの高効率化も行い、これまで1

ト×6だった高速型の電力ユニットを90キロワットに変更。省エネ化を推進する一方で、加工処理能力も約30%以上向上している。

同社では大型の鉄スクラップ加工処理機器の使用耐久年数が長いことから、メンテナンス

スサービスの向上をめざしており、新型シャーについては設計を変更し、メンテナンス性も向上。材料押さえの部品などの消耗品の交換を容易にした。また、リモート監視システムをラインアップするなど保守性も向上した。

「2010年の年度方針は、全員が垣根を越えた改善に取り組む、生き残れる会社を創ります」とした。これを年頭あいさつで社員に披露したと語るのは、少、顧客ニーズの多

影響を及ぼし、今年度の受注量は上半期が対前年同期比で大幅減少となり、下期も見通しが立たない状況」と説明。

# 富士車両

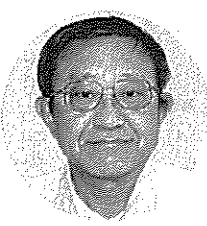
# 新型高速シャー投入

## 安全・省エネ性が向上

## 産廃処理機械・台車事業 営業展開を加速

## 関西、9万5000円に下落 需要振るわず軟調続く

木村 秀明氏 (日鉄神鋼シャーリング社長)



木村秀明・日鉄神鋼シャーリング社長。▽この年度方針に立った背景は切斷



様化、鉄鋼メーカー本体の収益性の悪化の3点を挙げる。需要に關しては「昨年